

【図画工作科・小5 題材「透明生物の足あとから」】①

育成を目指す資質・能力

自分で考えた足跡から、透明生物の姿や大きさなどを具体的に想像し、透明の表し方を自分なりに工夫して、透明生物を表す。



ICT活用のポイント

子供が自ら学習を調整して、思いや表したいことを自分なりに表すことができるよう、振り返りの場面でICT端末を用いたポートフォリオを作成し、見通しの場面や子供にとって必要な場面において活用する。

事例の概要（本時）

1

出会う

紫外線ライトを当てると光る塗料を使って、好きな場所に自分の考えた足跡を描き、友達と見付ける

2

試す・広げる

友達と交流しながら、アイデアスケッチを描く

3

表す

透明の表し方を自分なりに工夫して、透明生物を水彩絵の具で描く
(本時)

4

振り返る

ICT端末を用いたポートフォリオを見ながら、作品を見合う



○見通しの場面

前時までの授業を、ICT端末を用いたポートフォリオで振り返り、思いや表したいこと、自分なりの表し方の工夫を見直すことによって、本時、自分が取り組みたい内容や方法の見通しをもつ。

○子供にとって必要な場面（つまずいたとき、他のアイデアがほしいとき等）

透明生物を、透明に見えるように水彩絵の具で表す際、前時まで自分で考えた表し方の工夫を見直したり、学習支援ソフトを使って学級全体で共有した友達のポートフォリオを参考にしたりして、表し方の工夫を思い付くことができるようにする。

○振り返りの場面

本時取り組んだ、自分なりの表し方の工夫を、ICT端末を用いたポートフォリオに写真と文章でまとめることによって、言語化して学びの自覚を促し、次時に活用できるようにする

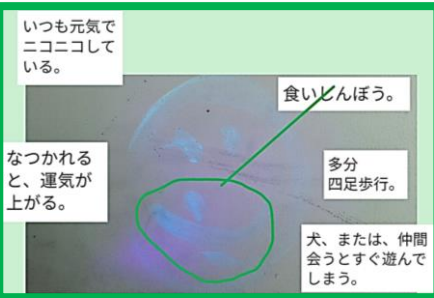
○題材を通して繰り返す

ICT端末を用いたポートフォリオを作成・活用することによって、子供が自ら学習を調整して、思いや表したいことを自分なりに工夫して表すことができる。



【図画工作科・小5「透明生物の足あとから」】②

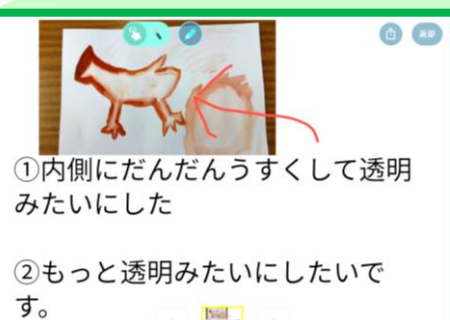
1 足跡を描いて見付ける



2 アイデアスケッチ



3 (本時) 表し方を自分なりに工夫して描く

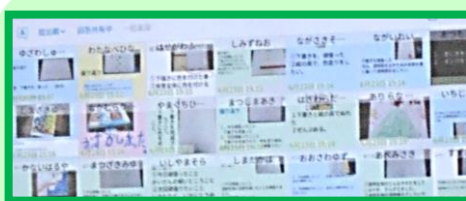


○見通しの場面



ICT端末を用いたポートフォリオを見て

今日、自分の「やりたいこと」と「やり方」が分かったよ



○子供にとって必要な場面

(つまずいたとき、他のアイデアがほしいとき等)



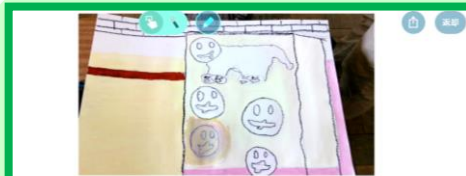
うまくいかないな

学習支援ソフトで共有した友達のポートフォリオを見ながら

友達はどんな工夫してるのかな



やってみよう



○振り返りの場面



作品をICT端末で撮り、ポートフォリオに記述しながら

こんな工夫ができたよ！次はもっと透明感を出したいな

繰り返すと・・・



子供が自ら調整して学ぶようになる！

思いや表したいことを自分なりに工夫して表すことができる

4 作品を見合う



透明感を出すために、いろいろな色を使って違和感を出しました。

透明にしたいところの背景と同化するよう背景の色を透明にしたいところの外側の色を使って透明感を出しました。



自分なりに工夫していい絵が描けたよ！もっとやりたいな図画工作、大好き♡